

令和 7 年度
藤華医療事務専門学校
学校自己点検・評価報告書
令和8年4月1日

令和8年2月2日(月) 令和7年度学生アンケート実施・集計
令和8年2月5日(木) 令和7年度教職員アンケート実施・集計
令和8年2月9日(月) 令和7年度第2回学校関係者評価委員会
令和8年2月17日(火) 2月運営会議、3月17日(火)3月運営会議
令和8年3月19日(木) 令和7年度末 職員会議 学校自己点検・評価報告書(案)
令和8年3月24日(火) 令和7年度 学校自己点検・評価報告書 学園本部提出

※教職員・学生アンケートと学校自己点検・評価との連動基準
教職員・学生アンケート評価基準3.1～4.0 → 学校自己評価「4」
教職員・学生アンケート評価基準2.1～3.0 → 学校自己評価「3」
教職員・学生アンケート評価基準1.1～2.0 → 学校自己評価「2」

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標

1 教育目標

有徳の学園づくりの為、「建学の精神」・「教育方針」を踏まえ、修徳の精神を身に付け、即戦力として活躍できる医療事務のスペシャリストを育成する。また、医療・介護現場でのコンシェルジュとして「報恩謝徳(ほうおんしゃとく)」を忘れず、奉仕の精神を身に付け社会に貢献する医療人材を育成する。

2 重点指導目標

- (1) 基本的生活習慣を身に付け、行事を通じた徳育・情操教育の実践を充実させる
- (2) 即戦力として専門的な知識・技術を習得し、資格試験取得率100%を達成する
- (3) 教職員としての資質向上を図るとともに、常に危機意識を持ちチームとして学生募集に挑戦するオンリーワンの学校づくりを推進する
- (4) 正社員として就職率100%を堅持する(2024年度 100%達成継続)

3 具体的な対策

- (1) 「礼儀・感謝・奉仕」の心を養い、礼儀・作法の行動実践、整理整頓・清掃・マナーの徹底を図る。
- (2) 資格検定試験対策に計画的に取り組み、着実な合格に繋げる。
- (3) 教職員研修の充実を図り、学校ガイダンスやオープンキャンパス、学生募集訪問を通じて学校の良さを積極的にアピールする。
- (4) 接遇マナーに加え、専門知識を身に付け、即戦力と期待される医療事務のスペシャリストを育成する。

4 地域社会等との豊かな関係づくり

- (1) 県内の医療・福祉機関と連携し、地域に貢献できる人材の育成を図る。
- (2) 学校、関係機関・施設等との連携強化。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 全校集会、(続)つばやきいりょう(月刊)による徳育教育、ボランティア活動による心の教育。
- (2) 基礎的な資格検定試験の100%合格達成。
- (3) 教育の質向上と積極的な募集活動を展開により、志願者30名以上の学生確保を達成する。
- (4) ミスマッチのない就職指導を心がけ、正社員として就職率100%を継続達成する。
- (5) 「報恩謝徳(ほうおんしゃとく)」の心を忘れず、奉仕の精神を身に付け社会に貢献する医療人材を育成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は明確か。	4	3	2	1
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1
・学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1

①課題

・教職員の資質向上のため、研修機会の確保と人的支援が必要。

②今後の改善方策

・医療実務研究会のセミナー受講など定期的な研修機会の確保を行う。また、医療現場で導入の進むRPA(Robotic Process Automation)などの現状を知るWebセミナー等を受講していく。
・専任教員の増員を図り、幅広い教育活動に取り組めるような人的配置を求めていく。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	・「広く産業経済界に有為な人材を育成し、個性豊かな子弟を送り出す」という後藤学園建学の精神を具現化するため、グループ内の老人福祉施設はもちろん、地域の病院・クリニック、歯科医院、介護福祉施設、調剤薬局等の業界との連携を密にし、より実践的な教育を目指した運営方針が策定されている。 【教職員アンケート 質問6 3.4】
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	・事業計画は、「地域の医療機関で即戦力として活躍できる医療事務のスペシャリストを育成する」という学校の運営方針に沿って、毎年度初めに2～3年後までの見直しを含めた具体的な事業計画が示されている。 【教職員アンケート 質問7 3.0】
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	・学校運営方針に基づき、各種委員会組織を設置し、定期的な運営会議および職員会議を開催し、具体的な活動計画を定め、実行している。 【教職員アンケート 質問8 3.4】
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	勤務規程及び給与規程により、明確に定められている。 【教職員アンケート 質問9 3.4】
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	教務担当の教務部と総務、財務担当の学園本部及び学園会館が意思疎通を図り、意思決定を行うシステムが整備されている。 【教職員アンケート 質問10 3.2】
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	勤務規程や教育課程編成委員会等を通じて、関係業界や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。 【教職員アンケート 質問11 3.4】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	・教育課程編成委員会、学校ホームページや、学生募集活動におけるガイダンスやオープンキャンパスなどを通じて、積極的に教育活動等を外部に対して情報公開している。求められている内容について、可能な限りの手段で積極的に外部への情報公開をしている。 【教職員アンケート 質問12 3.4】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1	・NAS(Network Attached Storage)による情報共有システムが整備され、業務の効率化を図るとともに、GoogleDriveによる校務のDX化を進めている。 【教職員アンケート 質問13 3.0】

①課題

・「業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか」について、教職員間の円滑な意思疎通に努めている。
・「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、学生用の校内Wi-Fiが整備されていないなどの課題が残る。
・対外の医療機関との連携の充実には、現有の教職員数では限界がある。

②今後の改善方策

・教育課程編成委員会や関係機関との連携が進み、教育課程の見直しを図ることが出来ている。
・委員会活動を見直し、共有化の仕組みや業務効率を議案に取り上げ改善を図る。
・対外の医療機関との連携は、限られた人員で可能な方策を模索する。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1

①課題

・資格取得等に関する指導体制は確立できおり、全国平均の合格率は上回るものの、100%に近づくための詰めに甘さがある。

②今後の改善方策

・資格取得に向けた内向的動機付けなど、低学年から指導体制を見直し、学生毎に個別指導を実施していく。また、教育課程編成委員会を通して、実践的かつ専門的な職業教育を推進する。

③特記事項

・職業実践専門課程の認定に向けた取り組みが進み、連携する企業との協定書や教員の研修計画等も導入が進められた。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

・卒後支援の機会確保が十分でなく、卒業生への積極的な支援体制を構築し、連携体制づくりが必要。

②今後の改善方策

・卒後教育については、①研修②つながり作り③募集広報を狙いとして計画的に実施する。また、引き続き、広報募集媒体においても、卒業生の活躍を取り上げキャリア形成を促していく。
・より早期にキャリア形成をはじめ、資格(学習)と就職後を結びつける対策に取り組む。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	・ハローワークや外部の機関による就職説明会を開くなど、在校生の就職活動を支援している。また、卒業後も同窓会組織等を通じて、就職活動の支援に努めている。 【教職員アンケート 質問32 3.2】 【学生アンケート 質問7 2.9】
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	・クラス担任を通じた相談、スクールカウンセラーを活用した相談等、複数の相談窓口もを整備している。 【教職員アンケート 質問33 2.0】 【学生アンケート 質問8 2.8】
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	・私立専門学校授業料等軽減補助金(高等教育無償化)機関認定を受けている。また、各種奨学金申請及び採用にかかわる手続きの支援を積極的に行い、並行して経済的状況に応じた学納金分納の相談にも応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.8】 【学生アンケート 質問9 3.0】
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	・定期的な健康診断はもちろん、生活指導委員会を中心とした安全・衛生指導を通じて、学生の健康管理の指導を徹底している。 【教職員アンケート 質問35 2.6】 【学生アンケート 質問10 2.7】
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	・支援制度はないが、希望に応じて学園グループの高校等を通じて、課外活動の紹介を行っている。 【教職員アンケート 質問36 2.2】 【学生アンケート 質問11 2.7】
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	・女子専用の学生寮の設置及び整備を行っている。また、近隣の廉価なアパート等を紹介している。 【教職員アンケート 質問37 3.4】 【学生アンケート 質問12 3.0】
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	・入学前からの面談、入学後の保護者説明会、成績状況に応じた適宜の保護者面談等を通じて、保護者との連携を重視している。 【教職員アンケート 質問38 3.2】 【学生アンケート 質問13 3.0】
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	・卒業生に対して、就職や転職の相談窓口を設け、卒業後の支援にも努めている。 【教職員アンケート 質問39 3.4】 【学生アンケート 質問14 3.1】
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	・夜間の別科(1年制)を設置し、リスキリング教育の機会を保障している。 【教職員アンケート 質問40 2.4】 【学生アンケート 質問15 3.0】
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	・体験授業やインターンシップの受入れに加え、高校の要望に応じて定期的な出前授業を実施している。 【教職員アンケート 質問41 3.4】

①課題

・学生の就職支援体制については改善している。一方で、早期離職や内定辞退など新たな課題が生まれており、就職先や家庭との更なる連携が必要である。

②今後の改善方策

・実習依頼訪問にて意見交換を行い連携を図る。
・実技授業を臨床の現場に近似させ、学生生活全般において職業意識を植え付ける。
・卒業後の追跡調査を実施し、医療機関との連携を深める。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

①課題

空き教室等を利用した自習スペースを確保と図書充実に課題が残る。

②今後の改善方策

自習スペースとして、場所の確保を行う。放課後の空き教室を使用し、施設の有効活用を行う。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	高校新卒者の募集にあたって、入学試験を10月以降に実施している。総合型入試を含め、出願については県の専門学校各種学校連合会での取り決めに沿って実施している。その他、学生募集は適正に行われている。 【教職員アンケート 質問45 2.8】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格検定試験の合格率など、正確に伝えられている。 【教職員アンケート 質問46 3.4】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と比較し、低い水準に抑えられている。 【教職員アンケート 質問47 3.4】 【学生アンケート 質問19 3.1】

①課題

- ・学生募集活動の質が変化しておらず、改善されていない点に課題が残る。
- ・高校卒業生数が減少する中、教育内容の質の向上を図りながら、学校の魅力を知ってもらう取組を随時進める。

②今後の改善方策

- ・本校の学費その他必要経費(預り金)は他校と比較して相対的に安価であるが、学費に見合うサービスが十分だとどの学生の認識が不足しているので、教育内容の質向上について周知する取組みを始める。
- ・学生の採用者が急増している「国の高等教育修学支援新制度(無償化)」など、各種減免制度の表記も含めて、学納金の情報伝達について随時見直しを行う。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

・少子高齢化の中、入学者数の確保のため学科の教育内容の刷新を行うとともに、経費の圧縮等で財務基盤の安定化を図っている。
【教職員アンケート 質問48 3.0】

・予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
【教職員アンケート 質問49 3.2】

・年2回(6月、11月)内部監査を実施している。
【教職員アンケート 質問50 3.6】

・学園本部HPでの情報公開等しっかりと対応できている。
【教職員アンケート 質問51 3.4】

①課題

・入学者の減少が財務状況に直接かわるので、定員確保に向けさらなる努力を継続する。

②今後の改善方策

・募集活動では、PDCAサイクルを見直し、新たなアクションを計画的に実行する。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1	・学校教育法, 養成施設指定規則等の法令に従った適正な運営がなされており, 申請書, 届出書, 学校運営に係る記録等は確実に保管されている。国や県の監督部署の指導調査で指摘された事項も改善されている。 【教職員アンケート 質問52 3.6】
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	・学生個人調書等の個人記録は施錠できるキャビネットに保管して部外者のアクセスを防止すると共に, 情報の持ち出しを禁じている。全職員を通じて, 個人情報管理意識の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問53 3.6】 【学生アンケート 質問20 2.9】
・自己点検・評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	・学校自己点検・評価委員会の下, 各項目に対して, 自己点検・評価を実施し, 学科でそれぞれの問題点を具体的に把握し, 内部監査等を通じて, 点検と改善を推進している。 【教職員アンケート 質問54 3.8】
・自己点検・評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	・自己点検・評価結果は学校ホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.4】

①課題

・個人情報のセキュリティについて、教職員の意識の高まりが高評価につながっている。

②今後の改善方策

・個人情報保護について、機会を逸せず、必要性及び制度の趣旨を周知し徹底していく。
・担当者研修を継続して行い、基本となる法制度の理解を日々の業務とつなげていく。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

①課題

・教職員学生ともにボランティア意識は高い。しかし、活動は校内や個人での活動に限られており、今後はさらに学校として一体となった活動ができるかが課題である。

②今後の改善方策

・活動人数を増やし、参加しやすい環境づくりを行う。
・外部施設や企業と連携し、ボランティアやトレーナー活動の充実を図る。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣, 在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2	1

①課題

・現在、外国人留学生の受入れは実施できていない。要請があれば受け入れる準備ができているとしているが、医療事務学科の科目を修得するためには日本語検定レベルN2以上が必要であり、実際の受け入れ態勢づくりも含め課題が多い。
--

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和7年度重点指導目標に対する総括

1. 基本的生活習慣の定着、徳育・情操教育の実践

- ①全校集会(毎月始め)…徳育教育の実践
- ②(続)つばやきいりょう(月刊紙)の発刊
- ③校是「礼儀・感謝・奉仕」の日常的指導
 - (ア)HRや授業を通じて校内マナー指導(挨拶の質向上)
 - (イ)見学や校外実習終了時、就職内定時のお礼状送付・訪問指導
 - (ウ)ボランティア活動
 - ・美化ボランティア…校舎周辺の雑草取り(5/9、5/20、6/25、9/3、10/3)
 - ・ペットボトルキャップ寄附(14年継続)、エンブリオ基金(11年継続)
 - (エ)学生による謝辞[外部講師招へい講演会(年8回)や施設見学时
 - (オ)全員での毎日清掃

2. 専門的な知識・技術習得、資格試験取得率100%達成

※【 】…昨年度実績 []…合格率の全国平均値

- ①診療報酬請求事務能力認定試験 … 47.8%【54.2%】[38.9%]
- ②医療秘書技能検定 2級…100%【70.8%】[約65~75%]
 - 3級…77.3%【91.7%】[約65~75%]
- ③医事コンピュータ技能検定 2級…72.7%【100%】[約75~80%]
 - 3級…86.7%【100%】[約75~80%]
- ④電子カルテ検定…100%【100%】[約70~80%]
- ⑤医療事務管理士…93.8%【100%】[約71~84%]
- ⑥メディカルクラーク(歯科)…60.0%【歯科事務管理士100%】[約60~70%]
- ⑦介護事務管理士…87.0%【95.2%】[約72~84%]
- ⑧調剤事務管理士…100%【100%】[約78~86%]
- ⑨CS技能評価試験 ワープロ 3級…100%【100%】[90.7%]
 - 表計算 2級…100%【昨年受験者なし】[82.4%]
 - 3級…100%【100%】[91.2%]
- ⑩秘書検定 2級…35.7%【78.3%】[61.5%]
 - 3級…92.3%【100%】[63.6%]

3. 教職員の資質向上、チームによる学生募集

①教職員の資質向上

- (a)研究授業 令和7年6月2日(月) 1限:医科医療事務Ⅰ(指導者:平岩寿子)
- (b)教育課程編成委員会 1回目:令和7年5月29日(木) 2回目:令和8年2月9日(月)
- (c)医療実務研究会 令和8年1月17日(土) 参加者2名:佐田、平岩
- (d)PC業務自動化ソフトRPA研修会 令和8年1月22日(木) 参加者2名:吉高、原

②入学者の推移(直近3年間)

R6,R7,R8→25名,31名,12名

【分析】入学予定者が減少

- (a)一般高校からの入学者減
- (b)楊志館高校の医療事務コース以外の入学者減
- (c)保護者のOC参加数減
- (d)3年生のOC参加数減
- (e)高校募集訪問回数(延べ数)は、約150校で変化なし。

4. 就職率100%(正社員)達成(2024年度 100%達成)

・就職状況… 内定21名 内定率100%(21/21)

<内定先>

病院・クリニック … 13名(62%) 大分赤十字病院、大分中村病院、三愛メディカルセンター等。

調剤薬局 … 6名(29%) 介護施設 … 1名 その他 … 1名

R7年度 薩華医療事務専門学校 学生アンケート(学校自己評価)

質問項目	評価
【教育活動】Q1:授業評価の実施・評価制度(授業評価アンケート)が適切に実施されていると思いますか？	3.2
【学修成果】Q2:就職率は毎年100%を維持していますが、就職率を上げるための取組が適切になされていると思いますか？	3.2
【学修成果】Q3:資格検定試験の取得率100%を目指していますが、取得率を上げるための取組が適切になされていると思いますか？	2.6
【学修成果】Q4:学校に学ぶことができない学生その他の実習に対して、面接などの機会を適切に設けていると思いますか？	3.6
【学修成果】Q5:卒業生や在校生が社会的に活躍していることを知る機会が適切に提供されていると思いますか？	3.3
【学修成果】Q6:卒業後の「自分の将来像」を描くことのできる機会(実習や体験学習など)が適切に設けられていると思いますか？	3.2
【学生支援】Q7:就職や進学に対して、ハローワークや外部の機関による就職説明会など、就職・進学支援に適切に取り組んでいると思いますか？	2.9
【学生支援】Q8:悩みを抱える学生に対する相談窓口などの設置に適切に取り組んでいると思いますか？	2.8
【学生支援】Q9:経済的な支援が必要な学生に対して、奨学金制度や授業料減免制度などの支援体制づくりに適切に取り組んでいると思いますか？	3.0
【学生支援】Q10:定期的な健康診断などを通じて、学生の健康管理を適切に行っていると思いますか？	2.7
【学生支援】Q11:課外活動などの支援が適切になされていると思いますか？	2.7
【学生支援】Q12:学生の生活環境(学生寮やアパートの紹介など)の支援が適切になされていると思いますか？	3.0
【学生支援】Q13:保護者との連絡(面談や説明会)が適切になされていると思いますか？	3.0
【学生支援】Q14:卒業生に対する就職や転職の相談窓口設置などの支援が適切になされていると思いますか？	3.1
【学生支援】Q15:社会人のニーズ(リスキリング=学びなおし)に対応した支援に適切に取り組んでいると思いますか？	3.0
【教育環境】Q16:教室や共有スペースなどの教育上必要な施設・設備が整備されていると思いますか？	3.1
【教育環境】Q17:学内外の実習機会の確保やインターンシップ制度など十分な教育体制が整備されていると思いますか？	3.1
【教育環境】Q18:防災訓練などの実施や非常震災に対して必要な組織や体制が整備されていると思いますか？	3.2
【学生の受入れ募集】Q19:学納金は、同じ医療事務の他の学校と比較して妥当な金額が設定されており、分納などの配慮がされていると思いますか？	3.1
【法令等の遵守】Q20:個人情報保護の対策が十分に整備されていると思いますか？	3.0
【社会貢献・地域貢献】Q21:学生のボランティア活動などを奨励し、活動を支援する取組がなされていると思いますか？	2.9
本校の教育活動や学生支援の状況等について、意見・要望などがあれば記入してください！ ・教科について…教科科目の単元を整理し、得意・不得意を記入し、(得意など) ・校種、時間割について…4月目は、就活時期や検定シーズンに合わせて実施が欲しい。それ以外は、出来るだけ3限まで。 ・施設、設備について…図書館の本の更新を早め、新刊の小説を入れるなど工夫をして欲しい。 ・医療機関の情報について…最新の情報が入手できるように欲しい。	

R7年度 薩華医療事務専門学校 教職員アンケート(学校自己評価)

質問項目	評価
【教育理念・目標】1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	3.4
【教育理念・目標】2 学校における職業教育の特色は明確か。	2.8
【教育理念・目標】3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか。	2.8
【教育理念・目標】4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	2.8
【教育理念・目標】5 学校の実践目標・育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.6
【教育理念・目標】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
②教員の資質向上のため、余裕のある業務環境づくりが必要。	
【学校経営】6 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.4
【学校経営】7 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.0
【学校経営】8 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3.4
【学校経営】9 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.4
【学校経営】10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.2
【学校経営】11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.4
【学校経営】12 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.4
【学校経営】13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.6
【学校経営】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
①10年前と比較し、学生の質も変化している。その時々で臨機応変な指導が必要。学生募集にもっとかかりと取組むことが重要。	
②本人はもちろん、保護者との連携を密にして、学校、家庭両面から学生を支える。学生募集の高校訪問時に、進路指導部の先生だけでなく、クラス担任とのパイプも必要。	
③情報システム化による業務効率アップに更なる利便性の向上が必要。	
【教育活動】14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.2
【教育活動】15 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.4
【教育活動】16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.4
【教育活動】17 キャリア教育・系統的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.4
【教育活動】18 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.6
【教育活動】19 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3.8
【教育活動】20 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3.8
【教育活動】21 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.2
【教育活動】22 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.4
【教育活動】23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2.8
【教育活動】24 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	3.2
【教育活動】25 関連分野における先駆的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.4
【教育活動】26 職員的能力開発のための研修等が行われているか。	3.4
【教育活動】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
①教職員の人的余裕が不足	
【学修成果】27 就職率の向上が図られているか。	3.2
【学修成果】28 資格取得率の向上が図られているか。	2.6
【学修成果】29 進学率の低減が図られているか。	3.0
【学修成果】30 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.6
【学修成果】31 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3.4
【学修成果】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【学生支援】32 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.6
【学生支援】33 学生相談に関する体制は整備されているか。	2.4
【学生支援】34 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.2
【学生支援】35 学生の健康管理を担う体制はあるか。	2.6
【学生支援】36 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.6
【学生支援】37 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2
【学生支援】38 保護者と適切に連携しているか。	3.2
【学生支援】39 卒業生への支援体制はあるか。	3.2
【学生支援】40 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.2
【学生支援】41 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.0
【学生支援】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
①通校への通学が不便(バスが不足)で自走取組もあるが、オープンキャンパスの参加者増の取組が不十分。	
【教育環境】42 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.8
【教育環境】43 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3.4
【教育環境】44 防災に対する体制は整備されているか。	3.4
【教育環境】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【学生の受入れ募集】45 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.2
【学生の受入れ募集】46 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.2
【学生の受入れ募集】47 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2
【学生の受入れ募集】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
①募集活動の質が数化していない	
【財務】48 中期的に学校の財務基礎は安定しているといえるか。	2.8
【財務】49 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.0
【財務】50 財務について会計監査が適性に行われているか。	3.8
【財務】51 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4
【財務】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【法令等の遵守】52 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.4
【法令等の遵守】53 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.0
【法令等の遵守】54 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	2.4
【法令等の遵守】55 自己評価結果を公開しているか。	2.8
【法令等の遵守】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【社会貢献・地域貢献】56 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.2
【社会貢献・地域貢献】57 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2.8
【社会貢献・地域貢献】58 地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	2.4
【社会貢献・地域貢献】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【国際交流】59 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	1.6
【国際交流】60 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	1.6
【国際交流】1:課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
令和7年度重点目標に対する総括	
・様々な業務に追われ、ゆとりを持って学生対応が出来ていない部分がある。	
・徳育教育や情報教育が不十分で、指導出来ない部分が内定辞退に繋がっている。	
・学生募集については、全員が同じ方向を向くことが出来ておらず、どこか他人任せになっている気がする。全員が当事者意識を持って積極的な募集活動を行うことが重要。	

令和7年度 藤原医療事務専門学校 学校自己点検・評価(評価①)と学校関係者評価(評価②)の比較表

質 問 項 目	評価①	評価②
【教育理念・目標】1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	3.4	3.5
【教育理念・目標】2 学校における職業教育の特色は明確か。	2.8	3.0
【教育理念・目標】3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	2.8	4.0
【教育理念・目標】4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	2.8	2.5
【教育理念・目標】5 学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.0	3.0
【学校経営】6 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.4	4.0
【学校経営】7 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.0	4.0
【学校経営】8 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3.4	3.5
【学校経営】9 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.4	4.0
【学校経営】10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.2	4.0
【学校経営】11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.4	4.0
【学校経営】12 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.4	4.0
【学校経営】13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.0	3.0
【教育活動】14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.2	3.5
【教育活動】15 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.4	3.5
【教育活動】16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.4	3.5
【教育活動】17 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.4	3.5
【教育活動】18 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.8	3.5
【教育活動】19 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3.8	3.5
【教育活動】20 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3.8	4.0
【教育活動】21 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.2	4.0
【教育活動】22 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.4	3.5
【教育活動】23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2.8	3.0
【教育活動】24 関連分野における実践的な職業教育(産学連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	3.2	3.5
【教育活動】25 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.4	3.5
【教育活動】26 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3.4	3.5
【学修成果】27 就職率の向上が図られているか。	3.2	4.0
【学修成果】28 資格取得率の向上が図られているか。	2.8	3.0
【学修成果】29 退学率の低減が図られているか。	3.0	3.5
【学修成果】30 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.8	3.5
【学修成果】31 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用されているか。	3.4	4.0
【学生支援】32 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.8	4.0
【学生支援】33 学生相談に関する体制は整備されているか。	2.4	3.5
【学生支援】34 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.2	3.5
【学生支援】35 学生の健康管理を担う体制はあるか。	2.8	3.5
【学生支援】36 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.8	3.5
【学生支援】37 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2	3.5
【学生支援】38 保護者と適切に連携しているか。	3.2	2.5
【学生支援】39 卒業生への支援体制はあるか。	3.2	3.0
【学生支援】40 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.2	3.5
【学生支援】41 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.0	3.5
【教育環境】42 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.0	3.5
【教育環境】43 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3.4	3.0
【教育環境】44 防災に対する体制は整備されているか。	3.4	4.0
【学生の受入れ募集】45 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.2	2.5
【学生の受入れ募集】46 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.2	3.0
【学生の受入れ募集】47 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2	4.0
【財務】48 中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2.8	3.0
【財務】49 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.0	3.5
【財務】50 財務について会計監査が適性に行われているか。	3.8	4.0
【財務】51 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4	4.0
【法令等の遵守】52 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.4	4.0
【法令等の遵守】53 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.0	4.0
【法令等の遵守】54 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	2.4	4.0
【法令等の遵守】55 自己評価結果を公開しているか。	2.8	4.0
【社会貢献・地域貢献】56 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.2	3.5
【社会貢献・地域貢献】57 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2.8	3.5
【社会貢献・地域貢献】58 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	2.4	3.5
【国際交流】59 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	1.8	2.5
【国際交流】60 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	1.8	2.5
平均	3.1	3.5

令和7年度学校関係者評価

日 時 令和8年2月9日（月）15：00～16：30 場所 藤華医療事務専門学校 校長室
出席者 教育経験者（元公立高校 校長） 業界代表（医療法人顧問）

質 問 項 目	評価①	評価②
【教育理念・目標】1 学校の理念・目的・育人人材像は定められているか。（専門分野の特性が明確になっているか）	3.4	3.5
【教育理念・目標】2 学校における職業教育の特色は明確か。	2.8	3.0
【教育理念・目標】3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか。	2.8	4.0
【教育理念・目標】4 学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	2.8	2.5
【教育理念・目標】5 学科の教育目標，育人人材像は，対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.0	3.0
【学校経営】6 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.4	4.0
【学校経営】7 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.0	4.0
【学校経営】8 運営組織や意思決定機能は，規則等において明確化されているか，有効に機能しているか。	3.4	3.5
【学校経営】9 人事，給与に関する規定等は整備されているか。	3.4	4.0
【学校経営】10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.2	4.0
【学校経営】11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.4	4.0
【学校経営】12 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.4	4.0
【学校経営】13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.0	3.0
【教育活動】14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.2	3.5
【教育活動】15 教育理念，育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.4	3.5
【教育活動】16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.4	3.5
【教育活動】17 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.4	3.5
【教育活動】18 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ，実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3.6	3.5
【教育活動】19 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3.8	3.5
【教育活動】20 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3.8	4.0
【教育活動】21 成績評価・単位認定，進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.2	4.0
【教育活動】22 資格取得等に関する指導体制，カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.4	3.5
【教育活動】23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2.8	3.0
【教育活動】24 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3.2	3.5
【教育活動】25 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.4	3.5
【教育活動】26 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3.4	3.5
【学修成果】27 就職率の向上が図られているか。	3.2	4.0
【学修成果】28 資格取得率の向上が図られているか。	2.6	3.0
【学修成果】29 退学率の低減が図られているか。	3.0	3.5
【学修成果】30 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.6	3.5

【学修成果】31 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3.4	4.0
【学生支援】32 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.6	4.0
【学生支援】33 学生相談に関する体制は整備されているか。	2.4	3.5
【学生支援】34 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.2	3.5
【学生支援】35 学生の健康管理を担う体制はあるか。	2.6	3.5
【学生支援】36 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.6	3.5
【学生支援】37 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2	3.5
【学生支援】38 保護者と適切に連携しているか。	3.2	2.5
【学生支援】39 卒業生への支援体制はあるか。	3.2	3.0
【学生支援】40 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.2	3.5
【学生支援】41 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.0	3.5
【教育環境】42 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.0	3.5
【教育環境】43 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3.4	3.0
【教育環境】44 防災に対する体制は整備されているか。	3.4	4.0
【学生の受入れ募集】45 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.2	2.5
【学生の受入れ募集】46 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.2	3.0
【学生の受入れ募集】47 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2	4.0
【財務】48 中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2.8	3.0
【財務】49 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.0	3.5
【財務】50 財務について会計監査が適性に行われているか。	3.8	4.0
【財務】51 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4	4.0
【法令等の遵守】52 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.4	4.0
【法令等の遵守】53 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.0	4.0
【法令等の遵守】54 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	2.4	4.0
【法令等の遵守】55 自己評価結果を公開しているか。	2.8	4.0
【社会貢献・地域貢献】56 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.2	3.5
【社会貢献・地域貢献】57 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2.8	3.5
【社会貢献・地域貢献】58 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	2.4	3.5
【国際交流】59 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	1.6	2.5
【国際交流】60 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	1.6	2.5
平均	3.1	3.5